

近年、急速に発展・普及したインターネットは、社会インフラとして日常生活の中に深く浸透するようになりました。総務省の通信利用動向調査によると、インターネット利用者数（推計）は、平成9年末の1,155万人（人口普及率9.2%）から平成25年末には1億44万人（人口普及率82.8%）に達しています。こうした中、参議院ホームページは、参議院から一般国民向けにウェブ上で情報を発信する手段として、今後ますます重要な役割を果たしていくものと思われま

す。参議院ホームページは平成9年1月、インターネット上で種々の情報を発信し、利用者の便に応えるとともに、参議院の存在意義や、果たしている役割等を広く国民に知らせる手段として活用することを目的に開設されました。その後、5回のリニューアルを始め適宜改修・コンテンツの追加等を行い、現在に至っています。

現在の参議院ホームページでは、議員情報、参議院の活動状況、国会議事堂紹介、傍聴や請願の手続等の情報を掲載するなど、積極的な情報発信に努めており、平成25年度におけるアクセス件数は502万845件（1日当たり約1万4,000件）でした。なお、アクセス数が多かった主なコンテンツには、「参議院の動き」（約92.5万件）、「議員情報」（約35.6万件）、「国会体験・見学」（約25.9万件）などがあります。

参議院ホームページの規模は、質問主意書、請願、議案情報、本会議投票結果など、随時追加していくコンテンツがあるため年々増大しており、現在はHTML約5万7,000ページ、PDF約2万3,000ファイルで構成されています。また、HTMLページのうち、広報課が手動で更新しているのは約7,000ページであり、それ以外の約5万ページは、情報システムを通じて自動的にページが生成・更新される仕組みになっています。これは、原課の担当者が各システムに入力した情報（議員情報、質問主意書、委員名簿、参議院公報、議案情報、請願等）について、各システムと連携する「議会情報公開システム」を通じて自動的にページが生成・更新されるというものです。これによって情報の更新頻度が高まり、閲覧者の利便性向上や更新作業の効率化が図られるようになっています。

最近では、参議院ホームページの質の向上・拡充に向けた取組として、平成26年3月に参議院ホームページのウェブアクセシビリティ（高齢者や障害者を含めた誰もがホームページ等を支障なく利用できること）を改善するための改修を行いました。また、既に憲法、国会法、参議院規則等の国会関係法規については掲載されていたところ、同年9月からは、国民一般に議院運営の実際を更に理解していただくことを目的として、参議院先例録・先例諸表、参議院委員会先例録・先例諸表を掲載しています。そして現在は、聴覚に障害がある方に対応するため、参議院ホームページで公開している広報用ビデオ作品への字幕付与に向けた取組を進めています。今後も「国民に開かれた国会」の実現に向けた取組の一環として、参議院ホームページの拡充、利便性の向上に努め、改良を重ねていく予定です。

あんどう のりゆき
（安藤 範行・庶務部広報課）